

1. 事業構想評価

(1) 事業構想「目標を定量化する指標」の達成状況

目標	メニュー	指標	開始年度	目標年度	達成状況												備考			
					1年目(開始年度)			2年目			3年目			4年目				5年目		
					目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率		目標値	実績値	達成率
安定供給体制の整備推進	間伐材生産	間伐材生産経費(円/㎡)の減少率	R1	R4	-	-	-	1			3			4			-			
	高性能林業機械等の整備	労働生産性(㎡/人・日)の増加率	H30		11	35	318%	12	40	333%	13			14			15			
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備		地域材利用量(㎡)の増加率		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	木造公共建築物等の整備	木造化(補助率1/2以内)	事業費当たりの木材利用量(㎡/百万円)		R1	2	5	250%	2			2			2			-		
		木造化(補助率15%以内)			H30	4	7	175%	4	7	175%	4			4			4		
		木質化			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	木質バイオマス利用促進施設の整備	未利用間伐材等活用機材整備			事業費当たりの木質バイオマス利用量(㎡/百万円)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		木質バイオマス供給施設整備			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
木質バイオマスエネルギー利用施設整備		-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

(注)

- 1 「達成状況」には、各年の目標値、実績値及び達成率(各年度の実績値/各年度の目標値)を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の1に基づくこと。
- 3 各メニューの達成状況における、目標年度の目標値には下線を引くこと。
- 4 目標値及び実績値のうち、該当がない年度は、「-」を記入すること。
- 5 天災又は自己の責に帰さない事由による火災等が理由で、達成率が著しく低いと判断されるメニューについては、本報告における評価対象外とする。  
なお、該当するメニューについては、本報告に準じ別途達成状況表を作成することとし、その理由を記載すること。

2. 全体評価

(1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度 (西暦)	数値	単位	年度 (西暦)	実績	達成率 (%)	年度 (西暦)	
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	素材生産量(増加率)	276,000	m3	H31 (2019)	300,000	m3	R6 (2024)				増加率:8.7%
		素材生産性(目標値及び増加率)	5.7	m3/人日		7.2	m3/人日					増加率:26.3%
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木造公共建築物等の整備	地域材利用量	0.278	千m3	H31 (2019)	0.311	千m3	R6 (2024)				増加量:0.033千m3 増加率:12%
		都道府県全体の低層公共建築物の木造率	32	%		32	%					
		都道府県全体の低層公共建築物の木造率の伸び率	69	%		69	%					
		都道府県及び市町村が整備する低層公共建築物の木造率	12	%		12	%					
		都道府県及び市町村が整備する低層公共建築物の木造率の伸び率	8	%		8	%					
自立的林業経営活動の推進	自立的経営活動推進											
山地防災情報の周知	山地防災情報伝達の総合的な推進	説明会等の開催数	0	回	H31 (2019)	6	回	R2 (2020)	13回	217%	R2 (2020)	
森林資源の保護	森林資源保護の推進											
	森林環境保全の推進	保安林指定の推進	1,037	百ha	H31(H29) (2019)	1,064	百ha	R2 (2020)	1,058	99%	R2 (2020)	「令和2年度保安林又は保安林施設地区に関する事務の報告書について」(R3.3.31現在)
マーケティング力ある林業担い手の育成	出荷ロットの大規模化等の推進											
	持続的な林業経営の確立											
	人材の確保・育成・定着	認定事業体数	19	事業体	H31 (2019)	20	事業体	R2 (2020)	19	95%	R2 (2020)	県内認定事業体数
		素材生産性(目標値)	5.7	m3/人日		6.4	m3/人日		5.9	92%		県内森林組合のR2生産性実績
	労働安全の確保	労働災害発生件数(減少率)	23	件		22	件		21	95%		労働者死傷病報告(厚生労働省)
素材生産性(目標値)		5.7	m3/人日	6.4		m3/人日	5.9		92%	県内森林組合のR2生産性実績		
林業経営体の育成	林業経営体育成対策(機械リース支援)	素材生産量(目標値)	44,919	m3		H31 (2019)	55,800		m3	R2 (2020)		45,733
		素材生産性(目標値)	5.1	m3/人日	6.1		m3/人日	6.2	102%		達成状況報告 令和3年7月20日	

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
安定供給体制の整備推進		
自立的林業経営活動の推進		
山地防災情報の周知	山地災害危険地区の把握を行うとともに、山地災害に関する講習会等を実施することにより、県民の山地防災に対する意識向上が図られた。	近年の豪雨災害により、集落単位での防災意識の向上や被災時の協力体制が重要とされています。ついては、更なる周知を図るため、集落単位等の中小規模な講習会で開催回数を増加させていく必要がある。
森林資源の保護	【森林環境保全の推進】 保安林を中心に巡視活動を行うとともに「やまぐち農林水産業成長産業化行動計画」等の目標に基づき保安林の指定を推進した。保安林の指定面積は、目標値の78%であり、更なる指定の推進が必要である。	【森林環境保全の推進】 森林の公益的機能の維持増進のため、引き続き保安林等の巡視活動に取り組むとともに、機能の発揮が求められる森林について計画的に保安林の指定を推進する。
マーケティング力ある林業担い手の育成	林業事業者への面談や情報提供等により、林業事業者の育成を行ったが目標達成には至らなかった。 また、林業認定事業者を中心とした巡回指導の継続や安全な伐木を行う指導者の育成研修を行ったことから、労働災害発生件数を減少することができた。	更なる林業認定事業者の育成・確保を行う。 また、引き続き巡回指導の実施と安全な伐木を行う指導者の育成研修により、労働災害の減少に努める。
林業経営体の育成	リースによる高性能林業機械の導入支援により、素材生産性は向上し目標を達成したが、素材生産量は現状値から微増に留まった。	引き続き素材生産システムの効率化に必要な高性能林業機械のリースによる導入を支援し、素材生産量の増大と素材生産性の向上を図る。
木材利用及び木材産業体制等の整備推進		

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。